

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 森脇 康仁 (井上 尊詩)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6億円
		急傾斜地崩壊対策事業 おおち 大内地区	朝来市 さんとうちょうおおち 山東町大内	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市 山東町 大内			H19	H19	H22
事業目的			事業内容		
<p>防災対策</p> <p>急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命、財産ならびに災害時要援護者施設（児童養護施設）、避難所、緊急輸送路である国道9号を保全する。</p>			<p>急傾斜地崩壊対策事業（防災工事）</p> <p>擁壁工 L = 500m</p> <p>〔負担割合 国 : 45.0% 県 : 45.0% 地元 : 10.0%〕</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> 大内地区は、急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家25戸ならびに児童養護施設（収容人員：60名）、避難所、緊急輸送路である国道9号がある。 斜面は民家に非常に接近しており、多数の滑落崖が見受けられ、斜面崩壊の危険性は高い。 （保全戸数：53戸） 			
快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> 市街地を縁取る緑の斜面は、地域の豊かな景観環境を構成するものであり斜面崩壊防止工事による環境保全効果は高い。 			
地域ニーズ		<ul style="list-style-type: none"> 斜面は民家に非常に接近しており、多数の滑落崖が見受けられることから、がけ周りの住民は不安を募らせており、地元から防災対策の早期要望が出ている。 			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> 保全人家25戸に加えて災害時要援護者施設である児童擁護施設や避難場所、緊急輸送路である国道9号があることから事業効果が高い。 			
効率性		<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に向けた地元要望があり、市の協力体制も整っているため円滑な事業執行が可能である。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 擁壁工の施工に当たっては、法面掘削を法裾の最小限に抑え、既存斜面の緑を残すことで環境保全に努める。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 斜面は民家に非常に接近しており、多数の滑落崖が見受けられることから、崩壊の拡大や新たな崩壊の危険性が高く、早急な対策が必要である。 斜面の崩壊により人命（人家25戸）、災害時要援護者施設である児童養護施設や避難所、緊急輸送路である国道9号等に被害が生じる。 			